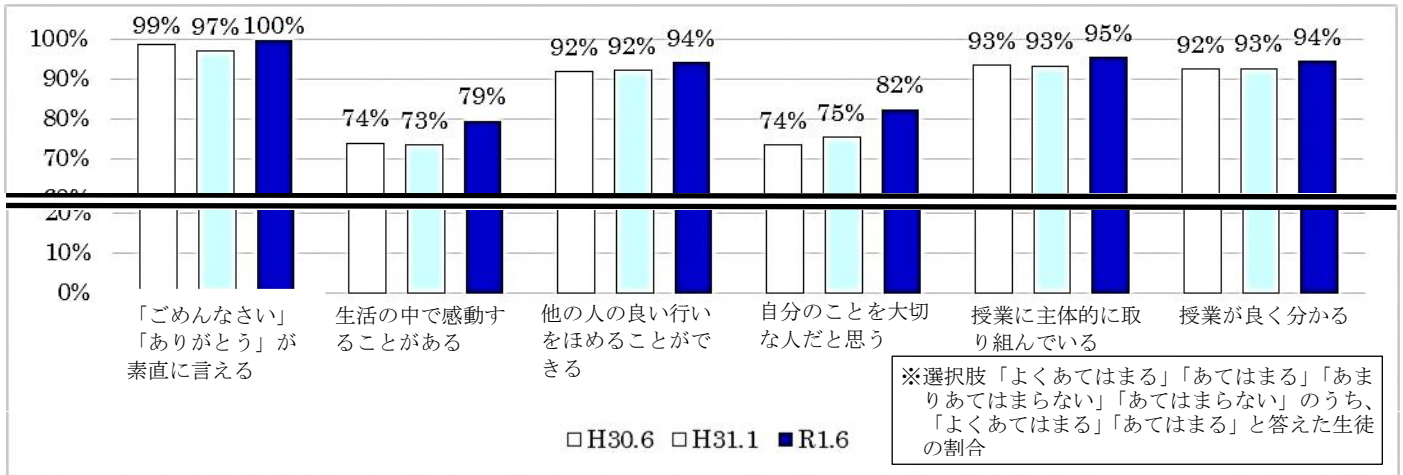
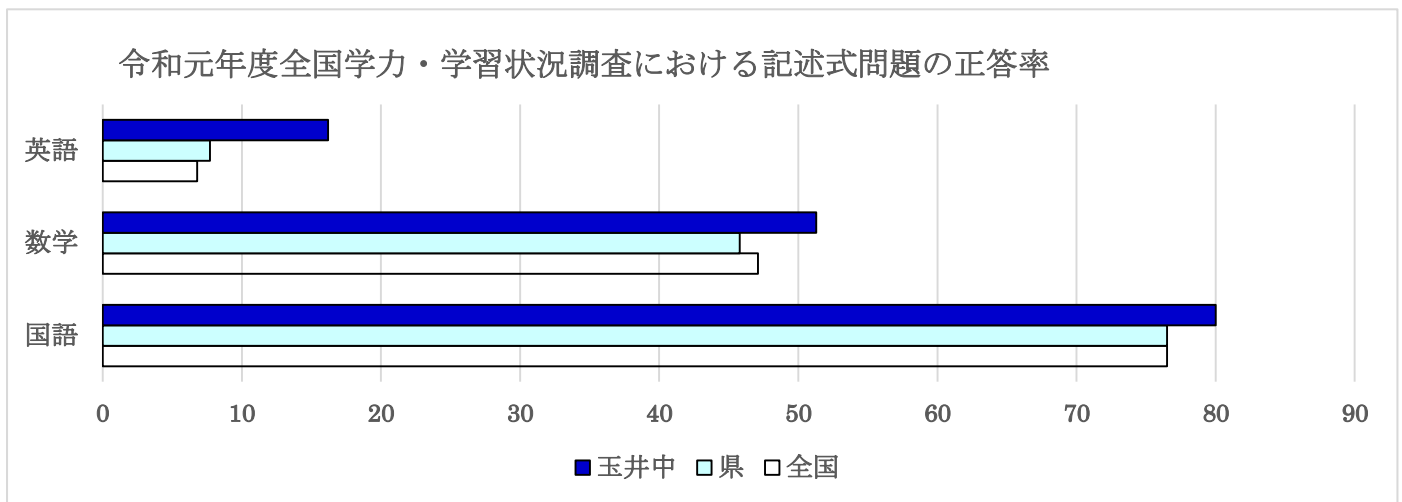


### 3 調査研究部

#### (1) 玉井中・豊かな心のアンケート



#### (2) 本研究と「知」の学力との関わり



### Ⅲ 研究の成果と課題

#### 成果

- ・仮説1では、TME22を活用しながら、自分のこととして考える道徳授業、考え、議論する道徳授業に取り組んだ。全教員共通の教材研究シート「TME22」を活用したPDCAサイクルにより、事前アンケート等をもとに本時の課題を設定し課題解決型の授業を展開したり、道徳的価値を深めるために役割演技を取り入れたりするなど指導方法の質が向上した。また、他の教員が実施した授業のTME22を活用して授業準備が進められるため、負担軽減につながるという教員の声も聞こえ、副次的な成果も得られた。
- ・仮説2では、「インクルーシブ教育の視点に立った環境整備」、「道徳コーナーの設置」、「道徳の見える化シート」、「授業で学んだ道徳的価値を実践できる場の意図的な設定」に取り組んだ。研究を通して、「玉井中・豊かな心のアンケート」でもよい変容が見られている。特に、「生活の中で感動することがある」、「自分のことを大切な人だと思う」という質問について、「よくあてはまる」「あてはまる」と答えた生徒の割合が大きく伸びており、心豊かな生徒への変容がみられた。
- ・本研究を通して、「知」の学力にも成果が及んでいる。令和元年度全国学力・学習状況調査では、記述式問題の正答率が国語、数学、英語すべての教科において全国、県を上回っている。また、資料として載せてはいないが、埼玉県学力・学習状況調査では、全学年の全教科において、すべての階層で学力が伸びた。心豊かな生徒の育成が「知」の学力の育成にもつながったといえる。

#### 課題

- ・授業公開だけでなく、学校、学年、学級通信、ホームページを活用し、さらに地域・家庭に学校の取組を積極的、計画的に発信していく。
- ・学校研究課題に向けて、組織力、授業力を高め、環境整備、PDCAサイクルを継続的にやっていく。